

すこやか

SANDA CITY HOSPITAL PRESS SUKOYAKA

第216号
8月号



特集

Special
Collection

こどもとてんかん

小児科 副部長
井上 友子

日本小児科学会認定・小児科専門医
日本小児神経学会認定・小児神経専門医



てんかんの原因と症状～正しい理解のために～

日本にはてんかんの患者さんが人口の1%弱、100万人もおられ、比較的身近な病気といえます。しかし症状の一つであるけいれん発作や“脳の病気”というイメージのため、残念ながらてんかんに対する誤解や偏見は社会の中に根強く存在します。よく知らないことへの漠然とした不安もあると思いますが、そのために患者さんは病気を隠さなくてはならなくなり、正しい認識が広まりにくく、サポートも受けにくい悪循環となっています。

てんかんは「脳神経細胞の電気活動の乱れによってさまざまな発作を起こす慢性的な脳の病気」で、心臓という不整脈のようなものです。新生児から高齢者まで誰にでも突然発病する可能性があります。特に10才未満のこどもと高齢者に多い疾患です。原因はさまざま、大人では頭のケガや脳梗塞、脳腫瘍など“きっかけ”があることも多いですが、こどもでは原因が見当たらないことが多いです。遺伝する確率も数%と少なく、「持病もなく家族や親戚にも同じ病気の人はいないのに突然発作が起こる」ケースがこどもには多いのです。発作の症状や頻度、治りやすさ、合併する病気などは人によって全く異なり、同じ疾患とは思えないくらいさまざまなバリエーションが存在します。こどもでは、

思春期頃に自然におさまる“年齢依存性てんかん”という経過が良いタイプが多いのも特徴です。

治療法

服薬治療が主体ですが、他にも脳の手術や脳神経を刺激する装置の埋め込み、食事療法、免疫療法など治療法も少しずつ進歩しています。7、8割の人は服薬で発作が消失し、その後治療を終了できる人は全体の約5割といわれます。近年国内で使用できる抗てんかん薬の種類は急速に増え、新しい薬は全般に副作用が少なく、その人に合った薬を調整することで、以前より発作や副作用に悩まされない生活を送れる人が増えています。

こどものてんかん～周囲の理解とサポートが大切～

治療中はいつどのように発作が起こるか完全に予測することはできないため、入浴や水泳などには一定の注意が必要ですが、症状がある（＝発作を起こしている）のは生活の中のほんの一瞬で、大部分の時間は通常の生活を送ることができるのです。全身性のひきつけのほとんどは数分で自然におさまるため、周囲は慌てず、ケガのないように見守るだけで大丈夫です。さまざまな経験を経て成長発達していくこども達が、必要以上に活動の機会を制限されたり偏見で傷つくことがないように、周囲の理解とサポートが大切です。当院小児科はこどものてんかんの診断・治療を専門的に行っています。気になる症状がありましたらご相談ください。





患者さま満足度調査の結果報告

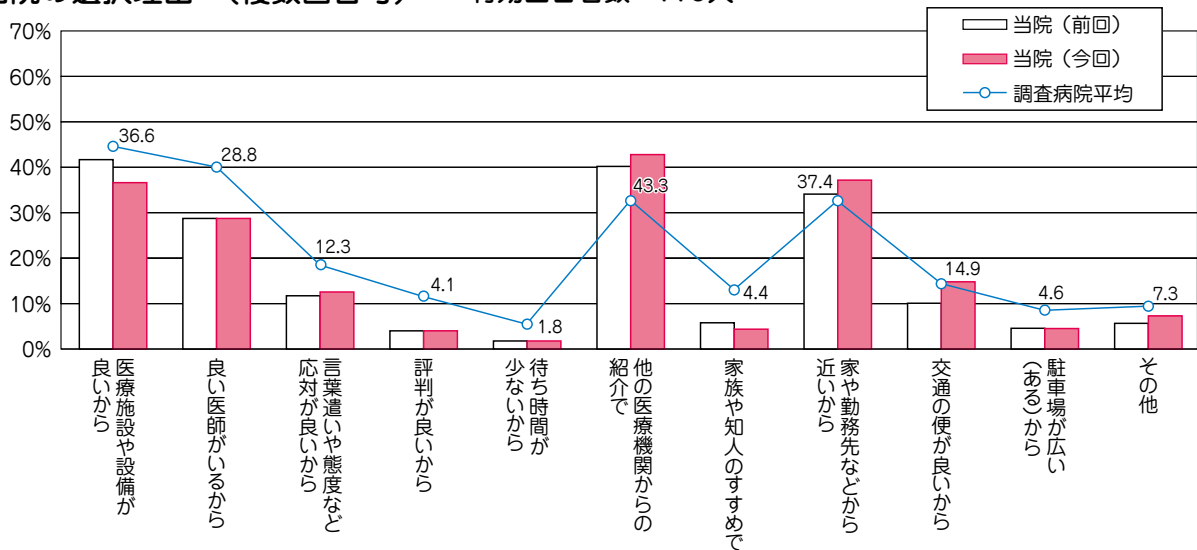
昨年秋に入院・外来患者さんを対象に実施した、当院の満足度調査の概要を報告します。来院の皆さんにはアンケートへご協力いただき、また、多数の貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。いただいたご意見を今後の病院運営にいかしてまいります。

外来部門

- ◇ 令和元年10月21日～25日、29日実施
- ◇ 回答者数 861人
- ◇ 平均年齢：63.4歳
- ◇ 性別：男性50.3% 女性49.7%



■当院の選択理由（複数回答可） 有効回答者数：779人



■診察待ち時間 有効回答者数：598人

平均待ち時間： 45.8 分

前回調査との差： +1.0 分
調査病院平均との差： -0.7 分

■総合評価点 有効回答者数：690人

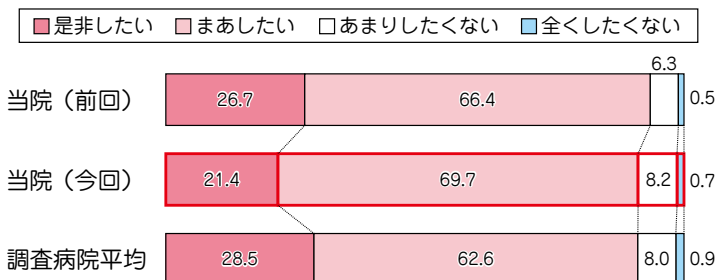
「総合的に当院を100点満点で評価すると、何点ぐらいになりますか」

平均評価点： 79.7 点

前回調査との差： -0.6 点
調査病院平均との差： +0.6 点

■紹介・推薦意向 有効回答者数：696人

「知人等に、当院を紹介や推薦したいと思いますか」



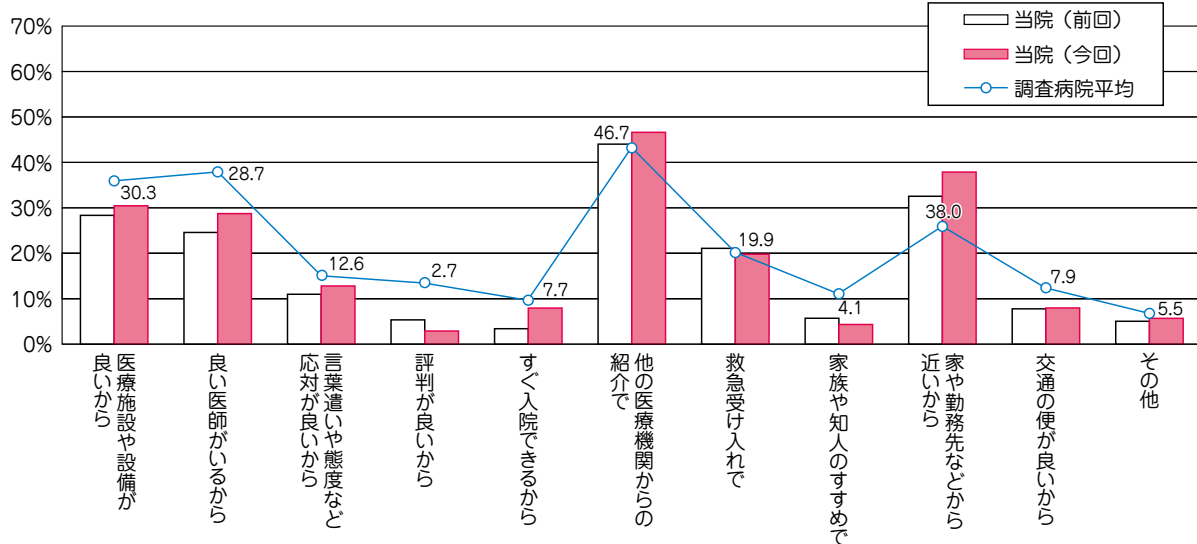


入院部門

- ◇ 令和元年10月1日～31日実施
- ◇ 回答者数 407人
- ◇ 平均年齢：63.4歳
- ◇ 性別：男性61.6% 女性38.4%



■当院の選択理由（複数回答可） 有効回答者数：366人



■総合評価点 有効回答者数：369人

「総合的に当院を100点満点で評価すると、何点ぐらいになりますか」

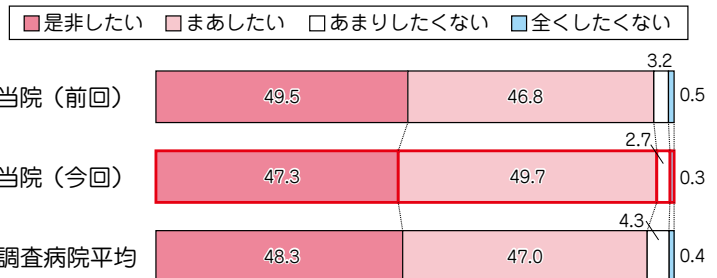
平均評価点： **86.4 点**

前回調査との差： **-0.7 点**

調査病院平均との差： **+1.3 点**

■紹介・推薦意向 有効回答者数：370人

「知人等に、当院を紹介や推薦したいと思いますか」



※ 前回調査は平成28年11月に同内容で実施したものです。

※ 調査病院平均：同内容の調査を実施した200床以上500床未満の52（外来は59）病院の平均値です。

Information

新人職員の抱負

4月から当院で働き始めた職員を代表して2部署の3人が抱負を語ります。

5階東病棟 二谷 美羽



4月より看護師として勤務しています。社会人としての第一歩を三田市民病院で踏み出せることを心より嬉しく思います。新人研修では学生時代の学びを振り返り、先輩看護師の温かく丁寧で熱心な指導のもと、同期と共に、看護師として必要な技術・知識を学び不安を軽減していくことができました。

配属部署では、先輩看護師から状況に即したサポートを得て、学びが多く充実した日々を過ごしています。先輩看護師の看護は勉強になることが多く、患者さん・ご家族とのかわり方、寄り添う看護を日々学ばせていただいています。

また患者さんからの感謝の言葉や病気と闘う姿を見ていると、自分の技術・知識不足を痛感しますが、積極的に学ぶ姿勢を忘れず、努力し続けたいと感じます。これからも私は患者さん・ご家族の気持ちに寄り添い、笑顔を大切に看護していきたいと考えています。そして、医療チームの一員として信頼されるような看護師に成長していきたいと思っています。

臨床検査科 足立 涼夏

4月から臨床検査技師として勤務しています。初めは社会人として働く上で緊張や心配もありましたが、それだけではなく新型コロナウイルスの流行もあり、医療の現場で働くことにさらに緊張感がある中での研修のスタートでしたが、先輩職員の丁寧な指導のおかげで少しずつ業務にも慣れてきました。

現在は主に生理検査を行っていますが、多職種の職員とコミュニケーションをとりながら検査を行う先輩職員を見て、チーム医療の重要性を実感しながら日々勉強させていただいています。私も技術や知識を身につけ、日々成長していけるように頑張ります。



黒田 大智

4月より臨床検査技師として勤務しています。4月当初から今日まで、仕事内容を覚えることに精一杯で、あっという間に月日が過ぎました。現在は1階検体検査室で業務を行っており、先輩職員の優しい指導のもと、多くのことを学ばせていただきながら、楽しく業務に取り組んでいます。常に初心を忘れないと同時に、1日でも早く皆さんに信頼される検査技師となれるよう、これからも努力していきますので、よろしくお願いいたします。

医師からのメッセージ

日々の診療に励む医師から、「すこやか」読者の皆さんへのメッセージをお届けします。



はしもと なおき

橋本 直樹

- 診療科 救急
- 専門分野 救急
※ acute care surgery
- 資格 日本消化器外科学会認定指導医、日本肝臓学会認定肝臓指導医、日本消化器病学会認定指導医、外科代謝栄養学会指導医、ICD（インфекションコントロールドクター）認定医

Message

昨年7月から救急部門に勤務しております。兵庫医大第二外科、近畿大学外科で肝胆膵外科、食道外科を研鑽し、平成18年に近畿大学医学部ERを立ち上げ、さまざまな救急症例を扱い、当院においても、断らない救急をモットーに対応したく思っております。

※外傷外科（trauma surgery）、救急外科（emergency surgery）、外科的集中治療（surgical critical care）を一体として取り扱い診療提供する外科診療領域



にしもと こうじ

西本 浩司

- 診療科 整形外科
- 専門分野 スポーツ外傷・障害、膝関節外科、肩関節外科、人工関節
- 資格 日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会認定スポーツ医

Message

スポーツ障害に対する治療や関節鏡を用いての肩関節、膝関節に対する手術、人工関節手術などを主に行っております。また外来診療においてエコー装置も導入し、診断や正確な注射などに役立てています。スポーツ障害や関節痛などでお困りの際はぜひご相談ください。

Information②

三田市民病院の選定療養費（紹介状なしの初診時等の患者負担）を改定

病院と診療所における外来機能の分化及び病院勤務医の負担軽減を図る観点から、平成28年度診療報酬改定において、特定機能病院及び一般病床500床以上の地域医療支援病院を受診する場合等には、紹介状なしで受診された初診の患者さんからは5,000円以上（初診時選定療養費*¹）、また、病状が安定し医師により他の医療機関に対し紹介を行う旨の申出を行ったにも関わらず患者さんの意思で引き続き受診された場合には2,500円以上（再診時選定療養費*²）の金額をご負担いただくことが義務化されました。

平成30年度診療報酬改定では義務化の対象範囲が地域医療支援病院の400床以上へ、令和2年度改定においては200床以上へ拡大され、これに伴い三田市民病院（300床）も対象範囲に含まれることとなったため、今回、初診時・再診時選定療養費の改定を行うものです。

<施行期日> 令和2年10月1日

<改定内容>（消費税込み）

	現 行	改 定 後
初診時選定療養費* ¹	1回 2,200円	1回 5,000円
再診時選定療養費* ²	—	1回 2,500円

問い合わせ＝三田市民病院医事企画課（565-8601）



近隣医療機関のご紹介

市民病院は地域医療連携を推進します。かかりつけ医を持ちましょう！



近藤眼科

近藤 陽子 院長

当院は、昭和60年に先代である父が開業して以来、患者さまに支えられ現在も同じ場所で診療を続けております。市役所の東側(駅方向)の横断歩道を渡ってすぐ、ビルの3階にあります。エレベーターもございますので、車いすの方も受診していただけます。

一般的な診療やコンタクトレンズの検診はもちろん、ハンフリー視野検査、OCT検査などの精密検査、網膜レーザー・YAGレーザーなどを用いての治療、日帰り白内障手術も行っております。入院手術や高度な検査治療が必要な方は三田市民病院や神戸大などの高次病院に紹介させていただくことも可能です。

これからも市民の皆さまに安心して治療を受けていただけるよう精進してまいります。今後ともよろしく願いいたします。

〒669-1529 三田市中央町4-5

電話：079-563-1510

診療科目：眼科

休診日：日曜・祝日、木・土曜日午後

診療時間 午前：9:00～12:15 午後：3:30～6:30

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	×	○	×



澤外科

栗根 雅章 院長

今から47年前に先代の澤徳一院長が開業して以来、永く内科・外科の地域医療を担ってきました。本年から現院長 栗根雅章(消化器外科医)が引き継いで診療を続けています。外観は古びてきましたが、内部では現代風にエコー、デジタルレントゲンや電子カルテなどを導入しています。また、往診や在宅訪問診療では市内の他診療所や訪問看護ステーションと連携し、より充実した診療ができるような仕組みづくりをしています。一つの診療所でできることには限りがありますが、病・医院、訪問看護、介護などの連携によって、患者さんとお家族をしっかりとお守りしたいと思います。身近なかかりつけ医として、お気軽にご相談ください。

〒669-1532 三田市屋敷町17-4

電話：079-563-2713

診療科目：内科、外科、消化器科

休診日：日曜・祝日、水・土曜日午後

HP 「三田市 澤外科」で検索してください

診療時間 午前：9:00～12:00 午後：4:00～7:00

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○
午後	○	○	×	○	○	×



編集後記

8月は例年では夏休みの真最中です。しかし今年は、夏休みが大幅に短縮され、子どもたちは暑さの中授業に取り組んでいます。人と適切な距離を保ちながら屋外では適宜マスクをはずすなど、熱中症と感染対策を続けましょう。

すこやか(第216号)
令和2年8月発行

【編集・発行】
三田市民病院
学術広報推進委員会



三田市民病院

〒669-1321 三田市けやき台3丁目1番地1
TEL.079-565-8000 (代表)
<https://www.hospital.sanda.hyogo.jp/>